



ふれいめん通信

2021年12月17日

Vol. 145

先生のおすすめ絵本

しんごうきピコリ

〈作・絵〉ザ・キャビンカンパニー 〈出版〉あかね書房



あおは「すすめ」、きいろは「注意」、あかは「とまれ」。パトカーくんが信号機の色と交通ルールについて教えてくれます。あお、きいろ、あか…ピコリ！と色が変わっていく信号機。子どもたちも「これは、とまれだよね！」「すすんでもよし！」と、ページをめくるたびに教えてくれます。かんたん、かんたん！と思っていると、「ピコリ！あれれ？ピンクになりました。」と、信号機が予想外の色に変わります。ピンク、オレンジ、むらさき…そしてさいごはぜんぶの色！それぞれの色には「さかだち」や「ジャンプ」など、面白い交通ルールがあるようです。「どーどー」と走るトラックや、「ひょーひょー」と走るバイク。「ぴょーん！ぼいーん！ぼいーんのぷーん！」とジャンプをする車たち。この独特なオノマトペと、独特なデザインでカラフルに描かれた車や街並みの絵にも引き込まれます。一度クラスで読んで以来、皆のお気に入りの1冊になり、「読んで！読んで！」と何度もリクエストされる楽しい絵本です♪

〈こぼと組 K先生〉

むしプロ

〈作〉山本孝 〈出版〉教育画劇



名前の通り、虫たちがプロレスをして戦うお話です。さまざまな種類のカブトムシとクワガタムシがそれぞれの特徴を活かして1対1で戦っていきます。勝ったり負けたりを繰り返し、最後に勝つのはどっち？とワクワクしながら見ていると、結末も面白いので驚きと笑い声が聞こえてきます。虫が好きな子が多かったので楽しく見る事が出来ました。読む側もついついプロレスの実況中継のように力が入ってしまう1冊です。

〈たんぽぽ組 I先生〉

※紙面で紹介している絵本の表紙画像の掲載には、出版社の許諾をいただいております。

読み聞かせノートより

ちくわのわーさん

〈作〉岡田 よしたか 〈出版〉プロンズ新社

くちぶえをふきながら、ちくわのわーさんはあっちへこっちへ歩いていきます。お昼寝中にわんこやねずみちゃんに入られたり、マカロニ、スパゲッティきょうだいと遊んだり、ドーナツみたいになろうとしてムリだったり、こいのぼりになろうとしてムリだったり、のりまきさんにのりと中身をかしてもらって楽しんだり…。そして最後はあのお料理の仲間になります。



〈ふじ組 Sさん〉

てぶくろ（紙芝居）

〈作〉ウクライナ民話 〈画〉箕田 美子
〈脚本〉堀尾 青史 〈出版〉童心社

しずかな森の雪の上におじいさんが落としていったてぶくろがひとつ。はじめにネズミがやって来て、てぶくろに住みこみました。そこへ、カエルやウサギやキツネが次々にやって来て…。満員のてぶくろへのししやクマが無理矢理入ろうとする姿に子ども達はクスクス笑っていました。読み終わった後、「なんでてぶくろに入れるの？」「てぶくろがおっきいの？」と不思議がる子もいました。



年長の子も達はよんでもらうだけではなく、自分なりの考えを持っている事に感心し、成長を感じさせられました。

〈ふじ組 Tさん〉

編集後記

季節はあっという間に進み、今年ももう少しですね。秋まつりは古絵本回収のご協力を頂き、ありがとうございました。今年の売上金額は12,830円でした。子ども達に少しでも喜んでいただけたら幸いです。来年も子ども達の笑顔と元気な声がたくさんあふれますように。素敵なクリスマス&お正月を…。

〈ふれいめん役員一同〉